

古座川町の給与・定員管理等について

1 総括

(1) 人件費の状況（普通会計決算）

区 分	住民基本台帳人口 (23年度末)	歳 出 額 A	実 質 収 支	人 件 費 B	人 件 費 率 B/A	(参考) 22年度の人件費率
	人	千円	千円	千円	%	%
23年度	3,162	3,256,253	717,554	461,986	14.2	13.9

(2) 職員給与費の状況（普通会計決算）

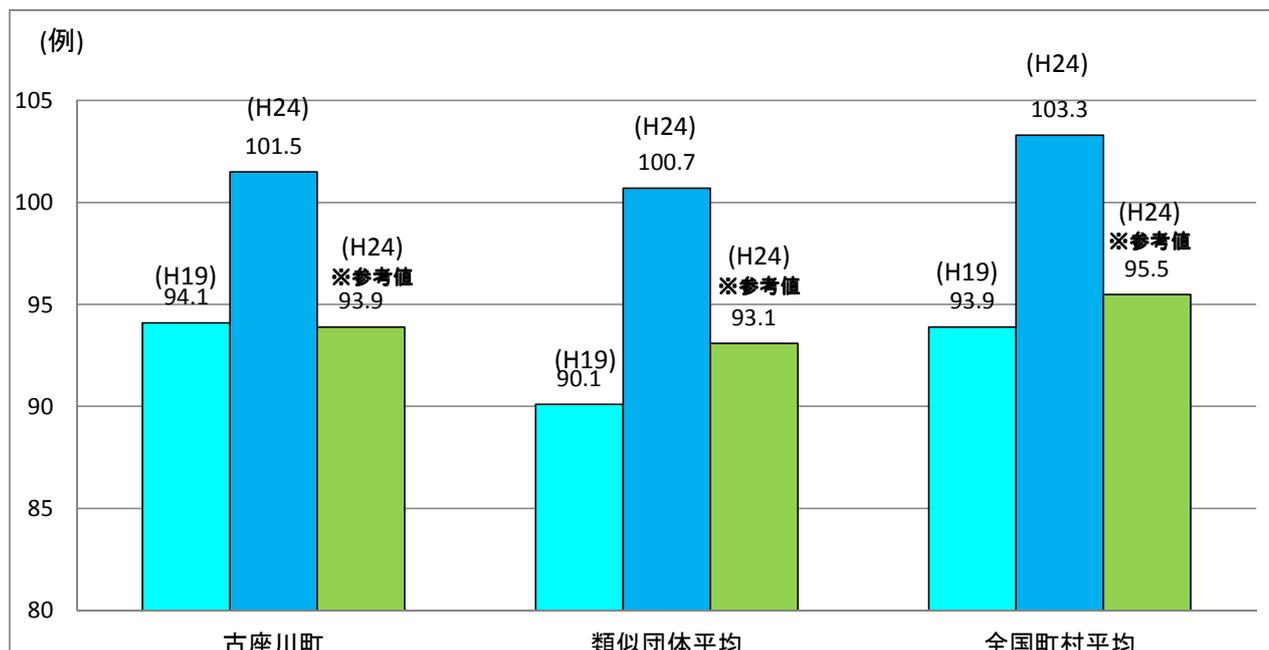
区 分	職員数 A	給 与 費				一人当たり 給与費 B/A	(参考)町村類型平均 一人当たり給与費 千円
		給 料	職員手当	期末・勤勉手当	計 B		
	人	千円	千円	千円	千円	千円	
23年度	51	170,652	41,966	61,281	273,899	5,371	5,361

- (注) 1 職員手当には退職手当を含まない。
2 職員数は、23年4月1日現在の人数である。

(3) 特記事項

特になし

(4) ラスパイレス指数の状況（各年4月1日現在）



- (注) 1 ラスパイレス指数とは、国家公務員の給与水準を100とした場合の地方公務員の給与水準を示す指数である。
2 類似団体平均とは、人口規模、産業構造が類似している団体のラスパイレス指数を単純平均したものである。
3 「参考値」は、国家公務員の時限的な（2年間）給与改定特例法による措置がないとした場合の値である。

2 一般行政職給料表の状況（24年4月1日現在）

（単位：円）

	1級	2級	3級	4級	5級
1号給の給料月額	135,600	185,800	222,900	261,900	289,200
最高号給の給料月額	243,700	307,800	345,400	388,300	400,600

3 職員の平均給与月額、初任給等の状況

(1) 職員の平均年齢、平均給料月額及び平均給与月額の状況（24年4月1日現在）

①一般行政職

区分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額	平均給与月額 (国ベース)
古座川町	39.9 歳	290,400 円	344,120 円	313,376 円
和歌山県	42.6 歳	335,204 円	408,881 円	370,802 円
国	42.8 歳	(減額前)329,917 円	—	(減額前)401,789 円
		(減額後)304,944 円		(減額後)372,906 円
類似団体	42.7 歳	305,195 円	346,802 円	332,520 円

(注) 1 「平均給料月額」とは、24年4月1日現在における各職種ごとの職員の基本給の平均である。

2 「平均給与月額」とは、給料月額と毎月支払われる扶養手当、地域手当、住居手当、時間外勤務手当などのすべての諸手当の額を合計したものであり、地方公務員給与実態調査において明らかにされているものである。

また、「平均給与月額（国ベース）」は、国家公務員の平均給与月額には時間外勤務手当、特殊勤務手当等の手当が含まれていないことから、比較のため国家公務員と同じベースで再計算したものである。

(2) 職員の初任給の状況（24年4月1日現在）

区分		古座川町	和歌山県	国
一般行政職	大学卒	172,200 円	178,800 円	172,200 円
	高校卒	140,100 円	144,500 円	140,100 円

(3) 職員の経験年数別・学歴別平均給料月額の状況（24年4月1日現在）

区分		経験年数10年	経験年数15年	経験年数20年
一般行政職	大学卒	240,600 円	288,400 円	321,900 円
	高校卒	205,900 円	246,700 円	295,500 円

(注) 標準的な職員の理論値を記載しています。

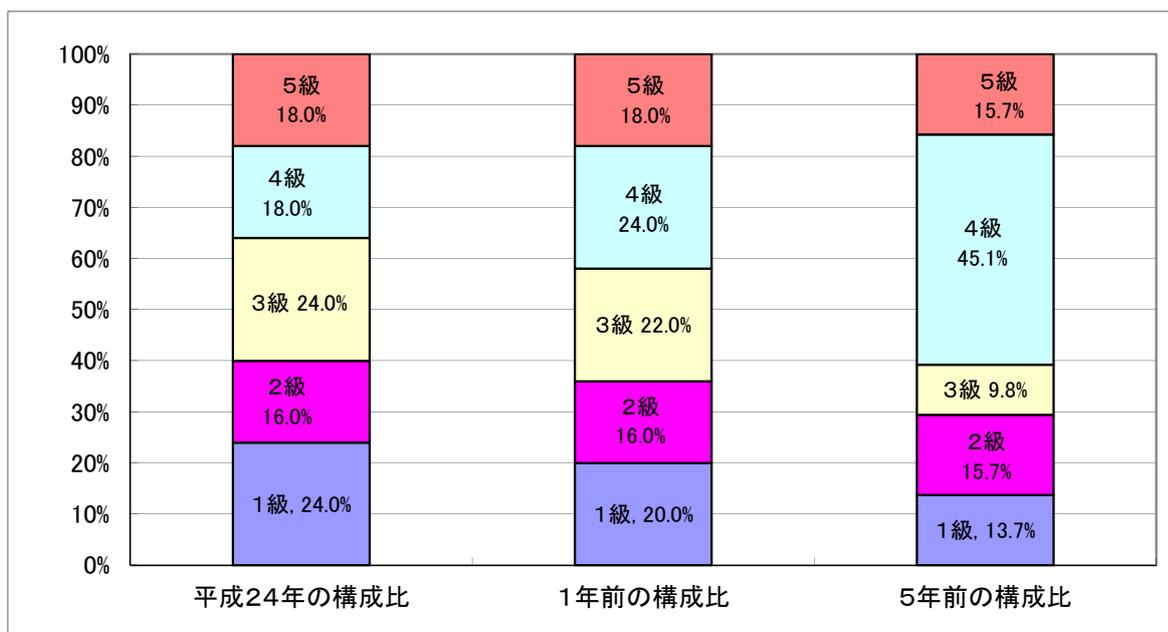
4 一般行政職の級別職員数等の状況

(1) 一般行政職の級別職員数の状況（24年4月1日現在）

区分	標準的な職務内容	職員数	構成比
5 級	参事,課長,室長,局長,教育次長,主幹	9 人	18.0 %
4 級	課長補佐,教育次長補佐,専門員,検査員,企画員	9 人	18.0 %
3 級	主任,係長	12 人	24.0 %
2 級	特に高度の知識又は経験を必要とする業務を行う主事の職務	8 人	16.0 %
1 級	主事,主事補	12 人	24.0 %

(注) 1 古座川町の給与条例に基づく給料表の級区分による職員数である。

2 標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職務である。



(2) 昇給への勤務成績の反映状況

人材育成・活用、組織力の向上、処遇への反映を目的として、人事評価制度を構築するため試行を行っており、懲戒処分者を除き昇給は一律(標準)としている。

5 職員の手当の状況

(企業職、教育長を除く)

(1) 期末手当・勤勉手当

古座川町	和歌山県	国
1人当たり平均支給額(23年度) 1,306 千円	1人当たり平均支給額(23年度) 1,576 千円	—
(23年度支給割合) 期末手当 2.60 月分 (-)月分 勤勉手当 1.35 月分 (-)月分	(23年度支給割合) 期末手当 2.60 月分 (1.45)月分 勤勉手当 1.35 月分 (0.65)月分	(23年度支給割合) 期末手当 2.60 月分 (1.45)月分 勤勉手当 1.35 月分 (0.65)月分
(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 役職加算5~10% 管理職加算なし	(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 役職加算5~20% 管理職加算10~20%	(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 役職加算5~20% 管理職加算10~25%

(注) ()内は、再任用職員に係る支給割合である。

【参考】勤勉手当への勤務実績の反映状況 (一般行政職)

人材育成・活用、組織力の向上、処遇への反映を目的として、人事評価制度を構築するため試行を行っており、懲戒処分者を除き昇給は一律(標準)としている。

(2) 退職手当（24年4月1日現在）

古座川町			国		
(支給率)	自己都合	勸奨・定年	(支給率)	自己都合	勸奨・定年
勤続20年	23.50 月分	30.55 月分	勤続20年	23.50 月分	30.55 月分
勤続25年	33.50 月分	41.34 月分	勤続25年	33.50 月分	41.34 月分
勤続35年	47.50 月分	59.28 月分	勤続35年	47.50 月分	59.28 月分
最高限度額	59.28 月分	59.28 月分	最高限度額	59.28 月分	59.28 月分
その他の加算措置			その他の加算措置		
定年前早期退職特例措置(2%~20%)			定年前早期退職特例措置(2%~20%)		
1人当たり平均支給額	14,952	千円			

(注) 退職手当の1人当たり平均支給額は、23年度に退職した職員に支給された平均額である。

(3) 特殊勤務手当（24年4月1日現在）

支給実績(23年度決算)				29,871 千円
支給職員1人当たり平均支給年額(23年度決算)				14,936 円
職員全体に占める手当支給職員の割合(23年度)				3.2 %
手当の種類(手当数)				4
手当の名称	主な支給対象職員	主な支給対象業務	左記職員に対する支給単価	
伝染病防疫作業手当	伝染病防疫作業に従事した職員	伝染病防疫作業	日額5,000円以内	
放射線取扱手当	放射線を照射する作業に従事した職員	放射線を照射する作業	1件当たり200円以内	
僻地研究手当	診療所に勤務する医師	医療業務	月額(平均) 1,215,000円	
往診手当	診療所に勤務する医師	往診	往診時の診療点数に10円を乗じた額	

(4) 時間外勤務手当

支給実績(23年度決算)	26,233 千円
職員1人当たり平均支給年額(23年度決算)	430 千円
支給実績(22年度決算)	4,005 千円
職員1人当たり平均支給年額(22年度決算)	98 千円

(5) その他の手当 (24年4月1日現在)

手 当 名	内容及び支給単価	国の制度との異同	国の制度と異なる内容	支給実績 (23年度決算)	支給職員1人当たり 平均支給年額 (23年度決算)
扶養手当	1 配偶者 13,000円 2 配偶者以外の扶養親族 (1) 2人まで 6,000円 (そのうち1人については、配偶者がいない場合11,000円、扶養親族でない配偶者がいる場合 6,500円) (2) (1)以外 5,000円 3 満16歳から満22歳の子 5,000円加算	同じ		9,366 千円	253,127 円
住居手当	借家・借間又は自宅に居住する職員に支給 (支給額) 借家・借間居住職員(月額12,000円を超える家賃を支払っている職員)最高 27,000円 自宅居住職員2,500円(自宅の新築・購入から5年間に限る)配偶者が借家・借間に居住する単身赴任手当受給職員最高 13,500円	異なる	自宅新築・購入から5年間支給	2,572 千円	122,457 円
通勤手当	通勤距離が片道2km以上である職員に支給 (支給額) 交通機関等の利用者6箇月定期券等の価額により一括支給ただし、一箇月当たり55,000円が支給限度額 自動車等の交通用具使用者 通勤距離に応じた月額(2,000円～24,500円)を毎月支給	同じ		3,835 千円	89,183 円
管理職手当	管理又は監督の地位にある職員に支給 (支給額) 課長等 給料月額×6% 課長補佐等 給料月額×4%	異なる	国の支給率 25～8% 本町の支給率 4%, 6%	5,069 千円	253,427 円
宿日直手当	宿日直勤務を行った職員に支給 (支給額) 一回 4,200円	同じ		1,966 千円	46,800 円

6 特別職の報酬等の状況（24年4月1日現在）

区 分		給 料		月 額		等	
給 料	町 長	577,000 円	() 円)	(参考)類似団体における最高/最低額			
	副 町 長	501,000 円		840,000 円 /	230,400 円		
	収 入 役	— 円		— 円 /	— 円		
報 酬	議 長	255,000 円	() 円)	395,000 円 /	140,000 円		
	副 議 長	195,000 円		310,000 円 /	115,000 円		
	議 員	175,000 円		290,000 円 /	100,000 円		
期 末 手 当	市 区 町 村 長 副 町 長 収 入 役	(23年度支給割合) 2.90 月分					
	議 長 副 議 長 議 員	(23年度支給割合) 2.6 月分					
退 職 手 当	市 区 町 村 長	(算定方式)	(1期の手当額)	(支給時期)			
	副 町 長 収 入 役	給料月額×在職月数×43.3/100	11,992千円	任期毎			
		給料月額×在職月数×25.8/100	6,204千円	任期毎			
	備 考						

- (注) 1 給料及び報酬の()内は、減額措置を行う前の金額である。
 2 退職手当の「1期の手当額」は、4月1日現在の給料月額及び支給率に基づき、1期（4年＝48月）勤めた場合における退職手当の見込額である。

7 職員数の状況

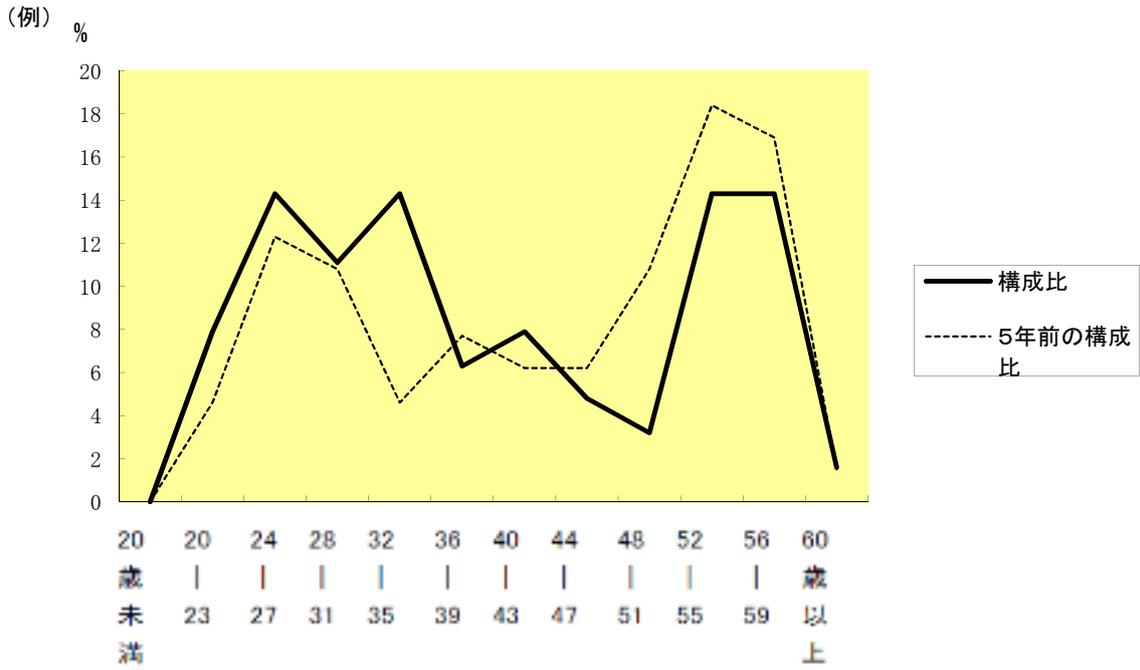
(1) 部門別職員数の状況と主な増減理由

(各年4月1日現在)

区 分 部 門		職 員 数		対前年 増減数	主 な 増 減 理 由
		平成23年	平成24年		
普通会計部門	議 会	2	2	0	
	総 務	18	18	0	
	税 務	2	2	0	
	農林水産	5	5	0	
	商 工	1	1	0	
	土 木	7	7	0	
	民 生	5	5	0	
衛 生	5	5	0		
	計	45	45	0	<参考> 人口一万人当たり職員数 139.06 人 (類似団体の人口1万人当たり職員数 183.21 人)
	教育部門	6	6		
	小 計	51	51	0	<参考> 人口一万人当たり職員数 157.6 人 (類似団体の人口1万人当たり職員数 221.24 人)
公営企業等部門	病院	6	6	0	業務整理
	水道	2	2	0	
	その他	5	5	0	
	小 計	13	13	0	
合 計		64	64	0	<参考> 人口一万人当たり職員数 197.75 人
		[75]	[75]	[]	

(注) 1 職員数は一般職に属する職員数である。
2 []内は、条例定数の合計である。

(2) 年齢別職員構成の状況（24年4月1日現在）



区分	20歳未満	20歳～23歳	24歳～27歳	28歳～31歳	32歳～35歳	36歳～39歳	40歳～43歳	44歳～47歳	48歳～51歳	52歳～55歳	56歳～59歳	60歳以上	計
職員数	人	5人	9人	7人	9人	4人	5人	3人	2人	9人	9人	1人	63人

(3) 職員数の推移

(各年4月1日現在)

部門別	19年	20年	21年	22年	23年	24年	過去5年間の増減数(率)
一般行政	45	46	44	45	45	45	0(0%)
教育	6	6	6	6	6	6	0(0%)
消防	0	0	0	0	0	0	(%)
普通会計計	51	52	50	51	51	51	0(0%)
公営企業等会計計	14	14	14	13	13	13	△1(△7.1%)
総合計	65	66	64	64	64	64	△1(△1.5%)

(注) 1 各年における定員管理調査において報告した部門別職員数。

8 公営企業職員の状況

(1) 簡易水道事業

① 職員給与費の状況

ア 決算

区分	総費用 A	純損益又は実 質収支	職員給与費 B	総費用に占める 職員給与費比率 B/A	(参考) 22年度の総費用に占 める職員給与費比率
	千円	千円	千円	%	%
23年度	28,321	3,278	13,390	47.3	46.3

区分	職員数 A	給 与 費				一人当たり 給与費 B/A
		給 料	職員手当	期末・勤勉手当	計 B	
	人	千円	千円	千円	千円	千円
23年度	2	5,974	3,024	2,118	11,116	5,558

(参考)水道事業平均 一人当たり給与費
千円 7,166

(注) 1 職員手当には退職給与金を含まない。

2 職員数は、24年3月31日現在の人数である。

② 職員の基本給、平均月収額及び平均年齢の状況（24年4月1日現在）

区分	平均年齢	基本給	平均月収額
古座川町	33.3 歳	297,400 円	367,667 円
団体平均	45.8 歳	384,658 円	595,951 円
事業者	— 歳	—	— 円

(注) 1 基本給は、給料及び扶養手当の合計額である。

2 平均月収には期末・勤勉手当等を含む。

③ 職員の手当の状況

ア 期末手当・勤勉手当

古座川町				団体平均			
1人当たり平均支給額(23年度)				1人当たり平均支給額(23年度)			
1,059 千円				1,575 千円			
(23年度支給割合)				(23年度支給割合)			
期末手当		勤勉手当		期末手当		勤勉手当	
2.60 月分	1.35 月分	月分	月分	— 月分	— 月分	月分	月分
(—)月分	(—)月分	月分	月分	(—)月分	(—)月分	月分	月分
(加算措置の状況)				(加算措置の状況)			
職制上の段階、職務の級等による加算措置 役職加算5~10%				職制上の段階、職務の級等による加算措置			

(注) ()内は、再任用職員に係る支給割合である。

イ 退職手当（24年4月1日現在）

古座川町			団体平均		
(支給率)	自己都合	勸奨・定年	(支給率)	自己都合	勸奨・定年
勤続20年	23.50 月分	30.55 月分	勤続20年	— 月分	— 月分
勤続25年	33.50 月分	41.34 月分	勤続25年	— 月分	— 月分
勤続35年	47.50 月分	59.28 月分	勤続35年	— 月分	— 月分
最高限度額	59.28 月分	59.28 月分	最高限度額	— 月分	— 月分
その他の加算措置			その他の加算措置		
定年前早期退職特例措置(2%~20%)					
1人当たり平均支給額			1人当たり平均支給額		
----- 千円			21,518 千円		

(注) 退職手当の1人当たり平均支給額は、年度に退職した職員に支給された平均額である。

ウ 時間外勤務手当

支給実績(23年度決算)	1,896 千円
職員1人当たり平均支給年額(23年度決算)	948 千円
支給実績(22年度決算)	382 千円
職員1人当たり平均支給年額(22年度決算)	191 千円

(注) 時間外勤務手当には、休日勤務手当を含む。

エ その他の手当 (24年4月1日現在)

手 当 名	内容及び支給単価	一般行政職 の制度との 異同	一般行政職 の制度と異 なる内容	支給実績 (23年度決算)	支給職員1人当たり 平均支給年額 (23年度決算)
扶養手当	1 配偶者 13,000円 2 配偶者以外の扶養親族 (1) 2人まで 6,000円 (そのうち1人については、配偶者がいない場合11,000円、扶養親族でない配偶者がいる場合6,500円) (2) (1)以外 5,000円 3 満16歳から満22歳の子 5,000円加算	同じ		312 千円	312,000 円
住居手当	借家・借間又は自宅に居住する職員に支給(支給額) 借家・借間居住職員(月額12,000円を超える家賃を支払っている職員)最高 27,000円 自宅居住職員2,500円(自宅の新築・購入から5年間に限る)配偶者が借家・借間に居住する単身赴任手当受給職員最高13,500円	同じ		324 千円	162,000 円
通勤手当	通勤距離が片道2km以上である職員に支給(支給額) 交通機関等の利用者6箇月定期券等の価額により一括支給ただし、一箇月当たり55,000円が支給限度額 自動車等の交通用具使用者 通勤距離に応じた月額(2,000円～24,500円)を毎月支給	同じ		78 千円	78,000 円
管理職手当	管理又は監督の地位にある職員に支給(支給額) 課長等 給料月額×6% 課長補佐等 給料月額×4%	同じ		0 千円	0 円
宿日直手当	宿日直勤務を行った職員に支給(支給額) 一回 4,200円	同じ		126 千円	63,000 円